

Green Technology Book (GTB) EXPO2025 Edition Q&A

Q1 : GTB EXPO2025 Editionへの掲載による企業にとっての具体的なメリット・価値

- ◆ 想定されるメリットとして、まず大きなものは、各社技術を、日本知財関係者や技術者のみならず、世界の幅広い専門家や一般人を含む幅広い方々に知ってもらうという点
- ◆ また、技術を供与したい場合には、アクセラレーションプロジェクトなどWIPOが行っている所定地域のマッチングプロジェクトで、技術所望者のニーズに応じて貴社の技術がソリューションとして参照されやすくなるという良い効果も考えられる

Q2 : GTB EXPO2025 Editionはどのように周知される予定か

- ◆ WIPO GREENのホームページに掲載
- ◆ GTB専用Webinarや他セミナーなどで宣伝
- ◆ 万博会場で配布（製本、リーフレット）
- ◆ WIPOのSNS(LinkedIn, Facebook, Instagram, YouTubeなど)アカウントで周知
- ◆ Google Adsなどの宣伝媒体に掲載

Q3 : 掲載技術数、掲載社数

- ◆ 技術は300程度を見込んでいる。社数は制限はない。

Q4 : GTBの購読数、購読者

- ◆ 統計は取っていないが、WIPOホームページからダウンロードされた総件数は約28000件、ページ訪問者数は世界中からのべ100万人を超えており、年々増加している。

Green Technology Book (GTB) EXPO2025 Edition Q&A

Q5 : WIPO GREEN DBへの登録は、知財ライセンス必須となるか

◆ WIPO GREEN DBには、主に、技術を広く世界に知らせるための技術や、共用するための技術が登録されている。

◆ [WIPO GREEN技術登録のページ](https://wipogreen.wipo.int/wipogreen-database/technology/new) の

<https://wipogreen.wipo.int/wipogreen-database/technology/new>

の下記項目“Business opportunities- Type of collaboration sought”*の自由欄に、知財ライセンスを考えられていない旨（例えば“For Advertisement Only”や“TBD”）などと記載ください。

Q6 : WIPO GREEN データベースへの登録には特許が必要か

◆ 特許がなくても登録可能。技術、ノウハウ、製品等。幅広く御検討ください。

Q7 : GTBの掲載にはWIPO GREEN データベースへの登録が必須か

◆ 必須であるが、ご事情がある場合はご相談ください。

Q8 : 既にWIPO GREEN DBに登録している技術はGTBの候補となるか

◆ DBに登録されている技術は全てGreen Technology Bookの対象として検討され、最終的にどの技術を掲載するかは、テーマの該当性や、類比性、技術の理解容易性などを考慮して決定される。既にDBに登録されている技術は既に調査対象となっているので、御知らせ頂く必要はございません。

WIPO GREEN Q&A（よくあるご質問）

作成者：JIPA事務局

更新日：2024/10/8

(ページ)

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. WIPO GREENとは？ | ・・・4 |
| 2. パートナー参加しているJIPA会員企業＆日本企業 | ・・・4 |
| 3. WIPO GREENに技術登録しているJIPA会員企業＆日本企業 | ・・・6 |
| 4. WIPO GREEN Q&A（よくあるご質問） | ・・・12 |
| 5. Databaseアカウント取得・技術登録方法 Q&A | ・・・14 |

WIPO GREENとは・・・

- 国連機関である世界知的所有権機関（WIPO）が事務局となり設立
- 2013年11月に公式に始動
- JIPA：初期構想段階から参加し、組織作りを推進
- 技術提供者と探求者の国際的なマッチングの場で、環境技術を世界に普及する後押しをする枠組み

<パートナー参加しているJIPA会員企業&日本企業> 2024年10月8日現在

□ WIPO GREEN Partner 世界156（内日本：55／JIPA会員39社＋他13組織）

JIPA会員：

味の素、大阪大学、貝印、鹿島建設、キヤノン、コニカミノルタ、資生堂、正林国際特許商標事務所、住友大阪セメント、住友電気工業、ダイキン、ダイセル、帝人、デンカ、東海国立大学機構、東京工業大学、東京大学、東北大学、東洋アルミエコープロダクツ、トヨタ自動車、豊田自動織機、日本軽金属、日本弁理士会、発明推進協会、パナソニック、日立製作所、富士通、古河電気工業、北海道大学、本田技研工業、三菱電機、明治大学、明電舎、リコー、早稲田大学、IBM、L I X I L、レゾナック、JIPA

その他：

日本国特許庁、九州経済産業局、九州大学、山形大学、日之出産業(株)、アスタミューゼ(株)、GSアライアンス(株)、Team E-Kansai、アドイン研究所(株)、Global Mobility Service(株)、(株)ジャパンプルーエナジー、ピクシーダストテクノロジーズ(株)、Tokkyo.Ai(株)、東京工業大学オープンイノベーションプラットフォーム（OIP）

□ 登録技術件数 4,210件／254ヶ国（内日本：1,096件／150組織、内JIPA会員963件／55会員） 2024年10月8日現在

※パテントスコープ分を含めると、トータル130,047件／254ヶ国

□ ニーズ登録件数 437件／32ヶ国 2024年10月8日現在

WIPO GREEN Database 2024年10月8日現在

- ① 技術を求める側（Need）：
製品、方法、ノウハウの移転、協業及び金融に関するニーズ情報を登録
- ② 技術を提供する側（Technology）：
製品、サービス、及び知的財産（発明、技術、ノウハウ、特許等）を、販売、協業、ライセンスを目的として登録

技術登録しているJIPAの会員：963件（55会員）

正会員（45）／富士通（391）、豊田自動織機（79）、キヤノン（57）、リコー（54）、コニカミノルタ（37）、住友大阪セメント（32）、カネカ（24）、富士通ゼネラル（26）、神戸製鋼（19）、三菱重工業（14）、三菱電機（11）、資生堂（11）、日立製作所（11）、帝人（10）、JX金属（10）、IBM（10）、貝印（10）、ダイセル（7）、レゾナック（6）、日揮（6）、日本軽金属（5）、新電元工業（9）、(株)明電舎（4）、京セラ（4）、パナソニック（4）、富士フイルムビジネスイノベーション（3）、LIXIL（3）、ソニーグループ（3）、東洋アルミエコープロダクツ（2）、日立金属（2）、シャープ（2）、水King（2）、中国電力（2）、本田技研工業（2）、ダイキン（2）、東芝（1）、デクセリアルズ（1）、マツダ（1）、日産（1）、トヨタ自動車（1）、旭化成（1）、大陽日酸（1）、千代田化工建設（1）、デンカ（1）、ヤマハ発動機（1）

賛助（10）／東京大学（34）、明治大学（高分子科学研究所、11）、東海国立大学機構（8）、東北大学（8）、大阪大学（7）、石油天然ガス・金属鉱物資源機構/JOGMEC（5）、早稲田大学（環境総合研究センター、3）、発明推進協会（1）、産業技術総合研究所/AIST（1）、北海道大学（1）

技術登録しているその他の日本企業・組織：133件（95企業・組織）

boost technologies(株)（14）、ウインド・パワー・グループ(株)（5）、山形大学（4）、富士通FIP(株)（4）、帝人フロンティア（3）、富士通フロンティック(株)（3）、ミドレックス・テクノロジーズ(株)（3）、(株)テクノプラン（3）、ピクシーダストテクノロジーズ(株)（3）、三菱ケミカルアクア・ソリューションズ(株)（3）、(株)空スペース（2）、(株)JERA（1）、(株)エターナルビジョン（1）、公益財団法人地球環境センター（1）、日之出産業(株)（1）、IHI Enviro Corporation（1）、Jトップ(株)（1）、(株)オスモ（1）、Rural Environment Research Association（1）、須田特許事務所（1）、特許事務所GreenWorld（1）、日本カンタム・デザイン(株)（1）、GMS(株)（1）、金沢工業大学（1）、Sustainable Innovations Private Limited（1）、Orbray(株)（2）、Green Hydrogen Solutions（1）、Videometer（1）、Vandan Group Company Limited（1）、石川県立大学・秋田県立大学（1）、中山鉄工(株)（1）、新日鉄エンジニアリング(株)（1）、Next2Sun（1）、Cow-Welfare（1）、シーメンス（1）・・・他

Q&A: WIPO GREEN

Q1 : パートナーと技術登録参加の違いは？ 具体的な違いが分からない

- ◆ WIPO GREENへは、①パートナーと、②技術／ニーズ登録の参加方法があります。
- ◆ どちらか一方又は、両方にて活動への参加が可能です。
- ◆ どちらも義務や費用はありませんので大枠として差異はございませんが、
 - パートナーは、年1回のWIPO GREEN総会、年数回のオンラインミーティングなど任意参加の会合で、議論、意見発信などに加わっていただくことが可能です。
 - パートナーになるのは、技術登録はマストではなくパートナーになった後にご検討いただくことも可能です。

Q2 : 参加企業・組織のメリットは？

- ◆ 「パートナー参加」により、国連機関WIPOのWIPO GREENを通じて自社が環境問題・社会課題に取り組んでいる姿勢をPR（各社プレスリリース等）することが出来、「技術登録」から環境関連の技術を持っていること、または、供与する準備があることを示すことが出来ます。
- ◆ ニーズから課題情報の収集や、「技術を登録」することで技術の情報の発信やビジネスにつなげることも可能です。
- ◆ パートナー・技術登録の日本／海外企業・組織との会合等を通じた他メンバーとの、情報交換や具体的な活動やネットワークもメリットです。

Q3 : パートナーになる方法？要件は？（第三者の推薦が必要など何か要件や資格はあるか？）

- ◆ WIPOGREENの憲章（[日本語](#)・[英語](#)）への合意と貢献について簡単なレターを作成・提出いただきます。テンプレートをご利用ください。

憲章から：

「パートナーは、公共または民間の組織で、WIPO GREEN を支援し及び/又は助言を与え、直接的又は間接的に取引を促進し、かつ、その専門性を活用し、特定の活動にWIPOGREEN を組み込み、又は地域内若しくは国内のフォーカルポイントとして行動する。パートナーは、この憲章に文書によって合意し、WIPO GREEN に対する貢献を明示する。」

[パートナーレターのテンプレート](#)（[黄色のハイライト箇所](#)の修正ください） & [パートナー分類](#)*

*パートナー分類は5つあり、いくつでも選択可能です 例）Database partner（ex. provide technology for the development of WIPO GREEN database） データベースへの登録は、パートナーになった後にご検討することも可能です。

* Name and Signature : 知財部長名でOK（サインは日本語でもOK）

Q&A: WIPO GREEN

Q4 : パートナーになると、何か義務が発生するの？

- ◆ 貢献を表明しますが、義務は発生しません。パートナー電話会議、年1回の総会への参加も任意です。
(前記の通り、5つのパートナー分類があり、例えばデータベースパートナーは技術登録をすることで貢献可能です)
- ◆ WIPO GREENに関連するルールなどは定款にあるものだけ (ロゴの使用方法は別途ルールあり)

Q5 : パートナーと技術登録、費用はかかるの？

- ◆ 費用は生じません

Q6 : 登録技術の国内or/and国際特許出願は必須？ 出願国に関して決まりごとはあるか？

- ◆ 特許出願は、必須ではありません。また、出願が日本だけの技術等もOKでルールはない。

Q7 : データベース閲覧方法は？

- ◆ 登録なしでどなたでも、無料で閲覧可能です (=ユーザー以外も閲覧可)
- ◆ [アカウント登録](#)をすると、collaboration typeや特許番号といった更なる情報にアクセス出来ます

Q8 : なぜWIPO GREENの枠組みを選ぶの？

- ◆ WIPOという国連の中立機関が関わるという背景が効果的に作用する場合も多く、環境技術において組織のグローバルなイメージアップへもつながります

Q9 : WIPO GREENの成功具体例は？ WIPO GREENに技術を登録した際、ビジネスマッチングの成功数や成功率の統計的な数字はあるか？

- ◆ 毎年WIPO GREENの[年間レビュー](#)に成功事例が掲載されております (2017～[2021](#)、[2022](#)、[2023](#)、2018・19は日本語あり)。統計数字はない。

Q&A: WIPO GREEN

Q10 : データベースにはどんな情報を入力するの？ 言語は？

◆ 言語は英語で、所定のフォーマットに沿って入力いたします

- 入力する内容については、必須となっているのが、タイトル、簡単な技術の説明、技術分野、開発地、環境上の利点、開発段階、コラボレーションタイプ（ライセンス、販売、サービス、ジョイントベンチャー、研究協力、他）になります。
- タイトル・説明・利点の簡単なものだけや、特許明細書の内容から抜粋して書かれている方や特許取得マストではないので製品を載せている方等様々です。
- 必須ではないところには、技術支援の内容（資料、材料、トレーニング）を選ぶところなどがあり、入力する内容によって様々な部門が関わってくるかと思えます。

◆ アカウント取得・データベースへ技術の登録方法（詳細はページ15以降 または [WIPO GREEN HP英語マニュアル](#)、[日本語マニュアル](#)を参照）

1. WIPO GREENの[アカウントを取得](#)いただき、発行されたユーザー名・PWでログインをして技術登録開始となります。まず、個人名での登録となりその後、プロフィール編集から会社名など細かな登録をいたします。
2. 技術登録所定フォームに沿って技術を登録していきます。
3. 技術のタイトル、説明、画像アップ、環境への利点などを登録する画面があり、以下の様にプルダウンで選ぶ項目もあります

The screenshot displays two sections of the registration form. The left section, titled 'テクノロジーカテゴリ*' (Technology Category*), includes a dropdown menu with the following options: Water, Farming & Forestry, Pollution & Waste, Product, materials and processes, and Building & Construction. The right section, titled '技術開発' (Technology Development), features a dropdown menu for '開発段階*' (Development Stage*) with the following options: Proof of concept (TRL 3-4), Technology development / prototype (TRL 5-6), Technology optimization / prototype validated in operational environment (TRL 7), Early commercial demonstration / adoption / dissemination (TRL 8), and Scaling up (TRL 9).

Q&A: WIPO GREEN

Q11 : WIPO GREEN参加および登録技術のデメリットは何かあるか？（WIPOGREEN運用上の問題点や課題は無いか？）

- ◆ 参加費用や義務なども発生しないため、デメリットはお聞きしたことがありません
- ◆ 登録技術数が増えると、メンテナンスなどの手間の発生、技術や提供の仕方（コラボレーションタイプ、技術支援の内容など）によっては、他部門がからんでくるので社内での調整が必要になることもあります。
- ◆ お問合せが集中することもないのですが、そこがマッチングが進まないという課題ではあります
 - 他社さんの例としては、登録技術をもって営業ではないですが、使っていただけそうなところに話を持っていったり、商談・打合せのなかでこの技術があうかもと感じたらご紹介をすることもあるようです。他社さんの登録技術でもご紹介もあるとのこと。
 - 国連機関WIPO GREENに登録している技術ですと伝えると相手の警戒心がほぐれ（売り込まれないとか、適正な価格だと思うようです）安心して話を進めやすかったというお話もあります。

Q12 : 申し出の内容によってはライセンスを受けないことも可能？

- ◆ ライセンスの可能性があるとすることを表明することであり、実務上は結果として許諾拒否となることもあります

Q13 : 環境関連といえ、登録できる技術に基準はあるか？

- ◆ 自社では活用していない技術も他社では有用で環境技術となりうる技術もあるので「SDGsへの貢献」に当てはめる必要はなく、社会貢献・社会問題の解決であったり、世の中の人の為になる技術、世の中を良くするような技術、ということであれば幅広く技術登録可能です。

Q14 : 登録技術を自社の判断で適宜取り下げること可能か？

- ◆ 可能です

Q15 : WIPO GREENに特許を登録した場合、同時並行で当該特許の個別のライセンス活動にも特に支障がないか？

- ◆ 同時並行で当該特許の個別のライセンス活動に支障も規制もございません

Q&A: WIPO GREEN

Q16 : パートナー加盟後の活動はどんなことが出来るの？ どう支援するのか？ Partner分類によって、入手できる情報に違いはあるか？
分類毎に活動はあるか？

- ◆ データベースに技術を登録する、自社HPでPRする等の支援が可能です。分類毎の活動はあまり聞いたことがありません。
- ◆ パートナーの違いによって入手できる情報に違いはないと思っています。
- ◆ Partner Welcome Packageをご参照ください。WIPO GREENニュースレターの登録をすると各月情報が届きます。

Q17 : 契約が結ばれたことはWIPOへ通知義務があるか？

- ◆ [8.6](#) In the interest of the well-functioning of the Database, Users will inform WIPO, in a timely fashion about agreements that have been enabled through WIPO GREEN. (データベースが十分に機能するために、利用者は、WIPO GREENを通じて有効となった協定について、WIPOにタイムリーに報告するものとします。)
- ◆ 憲章 j) annually reviewing contributions by Partners in collaboration with the Advisory Board;
- ◆ 他社の例では、開示できる範囲内で適宜WIPOにインプットしているとのこと。締結先に開示を拒否される場合なども多いため、開示いただける範囲内で、契約したことだけ報告でも良い。

Q18 : ライセンス締結、コラボレーションにWIPOはどう関与するの？

- ◆ WIPOは関与せず、直接当事者間で契約交渉を行い締結することになります。WIPO主催の、マッチング、オンラインイベントなどのイベントや支援はあります

Q19 : WIPO GREENの登録と、登録企業の環境格付けの関係を示すような資料はあるか？

(社内説明の際に、WIPO GREENへ登録すると環境格付けが上昇する様な資料があれば、説得し易い)

- ◆ 現在そのようなデータはございません。格付けは直接は関係せず、投資の観点で独自基準でやられているようです。
- ◆ パートナー参加の際に、国連機関WIPOのHPのトップに表示される等、環境に取り組んでいる企業として注目されたので良かったとお話されている方もいらっしゃいました。

Q&A: WIPO GREEN

Q20 : ロゴの使用方法について知りたい（プレスリリース、自社クライアント用のカタログに、パートナーロゴを使用してもいいか？

ルールはあるか？WIPOにレイアウトを確認した方がよいか？）

- ◆ WIPO GREENのロゴ（HPで使用されているもの）はパートナー一覧を案内する時にのみ使用可能（利用許可が必要）
- ◆ WIPO GREEN HPに[パートナーシップツールキット](#)があり、「partner」又は「Member」の文字が入ったPartner Seals（Proud partner of WIPO GREEN等の11種類）をプレスリリース、カタログ、PPT等に使用可能です。
- ◆ 縦横比の変更は不可、ぼやけた表示はダメ、切り取ってはダメ等少し細かく指定されています。
- ◆ シールありのプレスリリースについては、事前にWIPOに案を確認いただくのが良いようです（→自由に使用可）。

Q21 : 商品化されている商品の登録技術を、WIPO GREENに登録と説明や記載しても良いか？

- ◆ WIPO GREENのパートナーであること、WIPO GREENへ技術登録をしていることは、どの様に記載してもOK。
- ◆ 各社のHPや資料等でパートナー参加や技術登録の記載、他社との打ち合わせの際などに、登録していることの紹介もある。

Q22 : WIPOGREENに登録するのは、技術なのか？特許なのか？

- ◆ 技術の登録になります。
- ◆ 特許のありなしは要件にはなってありませんが、特許を含む技術が多いので特許の明細書をそのまま抜粋して掲載している場合も多いです。

Q23 : 各社のWIPO GREEN活用事例は？日本語でWIPO GREEN登録技術紹介

- ◆ 特許庁HP（パートナー企業のWIPO GREENの活動、登録技術のご紹介）[日本語・英語](#)
- ◆ [JIPAHP](#)（海洋汚染・環境対策関連の具体的技術（WIPO GREEN登録技術、その他）を動画で紹介）

Databaseアカウント取得・技術登録方法 Q&A

※WIPO GREEN Databaseは、IE（インターネットエクスプローラー）では閲覧できません。EdgeまたはChrome等をご利用ください

アカウント取得の際：

- ◆ **Username**：今後アカウントにログインする際に、パスワードとともに使用するもの。※**First Name**と**Last Name**も登録するので、名前に近いものでないとはじかれてしまいます
- ◆ **Primary activity・Size**：Primary activity（業種や事業内容）、Size（企業規模：従業員数、資本金、総資本額¥）*この内容は、Database閲覧者には公開されません
- ◆ **Address**：本社の住所でも、所属住所でもOK。*この内容も、Database閲覧者には公開されません
- ◆ **Website**：会社のホームページのURL。*OwnerをクリックしてもHPには飛ばず登録技術一覧に飛ぶので、このURLはWeb上には掲載されないものです。
- ◆ **SAVEすると**：タイトル「WIPO GREEN: User Registration」メールが送られて来る。*毎回SAVEする度にメールが送られてくる（WIPO側の設定）
- ◆ **自身のメールアドレスの他に、もう1つメールアドレスを登録したい**：メールアドレスはひとつのみ登録可能。もし必要な場合は、各社のメーリングリストが自動転送でご対応をいただいております。

- ◆ アカウント取得後、ログインすると所属組織の細かな登録が可能です。最後の**Permissions**のところは、**Submit technologies**にチェックをいれると、**技術の登録画面も確認可能**となります。

Edit your profile

Only your company name will appear on your public profile. All other information is for WIPO GREEN's internal use and will not be shared with any external individuals or entities.

Company Information

Company or Organization: Japan Intellectual Property Association
Address: Asahi-seimei Otemachi bldg. 18F 6-1, Otemachi 2, Chiyoda-ku
Town or city: Tokyo
Postal code: 100-0004
State or province:
Country / Territory: Japan
Primary activity: IP Association
Website:
Year established: 1938
Size: Up to 100

WIPO Account Information

This is your WIPO personal profile information.

[WIPO Account - Terms of Use](#)
[Edit your personal profile](#)

Title:
Given name: Noriko
Family name: AKAI
Address:
Town or city: Tokyo
Postal code:
State or province:
Country: JP
Telephone:
Email address: jipagreen@jipa.or.jp
Job title:
Save

Permissions

Select which WIPO GREEN services you'd like access to.

Type	Status
☒ Submit technologies	Granted
☒ Submit needs	Granted
☒ Contact a provider or seeker	Granted

Databaseアカウント取得・技術登録方法 Q&A

アカウント取得後、組織の設定画面：

◆ Permissions：

- Submit technologies 技術を登録するのに必要
- Submit needs ニーズを登録するのに必要
- Contact a provider or seeker 技術登録およびニーズ登録した人や企業にコンタクトを取りたいと思っている場合チェックを入れておくと、provider or seekerの一覧の閲覧、コンタクトフォームを使用することが可能です。（コンタクトフォームの利用はアカウントを持っていればもしかしたら誰でも可能かもしれません）

Permissions

Select which WIPO GREEN services you'd like

Type	Status
☒ Submit technologies	Granted
☐ Submit needs	
☐ Contact a provider or seeker	



◆ Grantedになるまで少しタイムラグがあります：

会社情報をご登録後、WIPOからの変更受付のメールが届きます。データベースの欄をクリックしても、Submit technologies が、表示されない場合は、もうしばらくお待ちください。

- プロフィール画面のSubmit technologies の欄の横の status のところが **pending** から、**Granted**に変わります



Databaseアカウント取得・技術登録方法 Q&A

技術登録時（基本情報・操作）：

- ◆ **登録言語：**全て英語で入力ください
- ◆ **登録するために会社としてのアカウントを取得する必要があるか：**会社としてのアカウントは取得することはできません。個人のアカウントを登録した際に、Company情報を登録しておりますので個人で登録いただいたアカウントから、技術を登録することになります。***閲覧画面に、Owner会社名、Uploaded by登録者名が表示される。**
- ◆ **必須となっている内容：**タイトル、簡単な技術の説明、技術分野、開発地、環境上の利点、開発段階、コラボレーションタイプ（ライセンス、販売、サービス、ジョイントベンチャー、研究協力、他）等
- ◆ **必須ではない内容：**技術支援の内容（資料、材料、トレーニング）等
 - 入力する内容によって関係部署が関わってくる
 - タイトル・説明・利点の簡単なものだけだったり、特許明細書の内容から抜粋して書かれている方や特許取得マストではないので製品を載せている方等様々。
- ◆ 必須登録項目を埋める必要がありますが、技術説明に関しては、フォーマットや要件はございません。
- ◆ **文字数の制限：**それぞれ制限あり。技術説明は4000文字。
- ◆ **技術説明用の商品のカタログの添付：**可能。HP・資料などをリンクしているのもあり。
- ◆ **登録の途中で一時保存し、後から登録作業を再開することはできるか：**登録画面一番下の、「save」をクリックすると「Publish Later」が表示されますので、そこをクリックするし保存し、いつでも再開可能。「Yes, Publish」をクリックすると、すぐに公開されます
- ◆ **再開する方法：**My Submissionから、右端の「ペンマーク」を押す。
- ◆ **公開する方法：**星マークの下の、「横三角」をクリックするとすぐに公開されます。**公開ボタンを押すまでは公開されませんのでご安心ください。**
- ◆ **公開後、取り消し方法：**公開後、表示が変わりますので、そこをクリックすると非公開になります。
- ◆ **技術登録方法のWIPO HPの公式マニュアル（[英語](#)、[日本語](#)）：**

Databaseアカウント取得・技術登録方法 Q&A

技術登録時（個々の入力画面）：

- ◆ **DashboardのDescription**：文章での技術説明。Webサイトを入力する欄あり。
- ◆ **Patent**：特許番号入力。1つの登録情報にいくつかの特許を登録できますが、1件ずつの入力のみ。
 - 特許の番号を登録すると特許情報の記載欄：タイトルやキーワードを簡単に記載している場合やPatentとだけ記載の場合、詳細に記載している場合様々ですので、「Patent」だけでもOK。
- ◆ **Readiness level**：既にビジネスを開始している技術は、ブルダウンの一番下のTRAL 9。
- ◆ **画像アップロード**：Descriptionの記載については、Short Summary の下の欄にあるDescriptionと同じでOK。
- ◆ **添付資料**：登録ページの最後に50MB限度で、PPT、MP 4等様々な形式のものを添付可能。
- ◆ **各登録のID番号が付与**：この番号に用途があるのかは良く分かっておりません。（以前ID番号で一気に修正等が出来るようにして欲しいというような要望もいただきましたが、そのような機能はないようです）

技術登録時（各種ボタン、表示）：

- ◆ **Bookmark**：公開後、閲覧者がその登録技術をBookmarkするとBookmark数が表示されます。自身でも気になる技術をBookmark★しておく、一覧でみる事が出来ます。
- ◆ **Actoin**：編集、削除、Bookmark、公開をボタンで選択できます。
- ◆ **下書きのReady**：いつでも公開可能。
- ◆ **Statusの飛行機マーク**：必須項目未入力の場合、飛行機マーク？確認
- ◆ **公開すると公開されましたと自動メールが届きます。**

Databaseアカウント取得・技術登録方法 Q&A

技術登録時（ご参考）：

- ◆ **Investment soughtを「No」で登録してもYesとなる現象：**
登録後に再度編集に戻ると、Investment soughtを「No」で登録してもYesとなる。
- Yesでその下の項目を入力しなければ、**Other Informationには何も表示されない**ようですので、**YesでもNoでもどちらでも大丈夫**なようです。
- **検索項目へもYesは影響**ないです。

The screenshot shows a registration form with two main sections. On the left, a dropdown menu titled 'Type of finance' is expanded, showing a list of options with counts in parentheses: Grant (180), Loan (84), Private equity (78), Guarantee (60), Venture capital (23), Bonds (6), and Carbon credit (1). On the right, a tabbed interface is visible with tabs for 'Description', 'Benefits', 'Other Information', and 'Match'. The 'Other Information' tab is currently selected and highlighted with a green border. Below the tabs, there are sections for 'Similar technologies', 'Statistics', 'Developed in' (set to Japan), 'DEVELOPMENT STATUS' (with 'Readiness level (TRL)' set to 'Proof of concept (TRL 3-4)'), 'CONDITIONS FOR USE', and 'Collaboration type' (set to 'License').

技術登録後（自社の登録技術の検索、共有）：

- ◆ Database検索で、自社の登録技術画面を確認したい：
 - **検索画面からは、会社名検索では出てこない。**（User Upload、Japan、Companyで絞り込んで検索等）
 - ログイン後の右上の「Dashboard」の「My submission」から自身の登録した画面をご確認いただくことも可能。
 - ログイン後、「Database」→「Providers & Seekers」の一覧から、会社名で閲覧することも可能。
- ◆ 自身のログイン画面から登録したデータの画面を呼び出し、そのURLを他の人に送信し、見てもらうことは可能か：URLの共有で閲覧は可能。ただ、**Databaseの画面は、ログインしている人とログインしていない人とは表示内容が少し異なります。**
- ◆ 入力内容を、DB上で公開する前に自社内の人にチェックしてもらう為、**入力した画面をうまく印刷する方法**（右クリックで普通に印刷すると欄に表示されない部分は印刷されない）：
 - 下書きの技術を、（再開画面から、技術をクリックし）プレビューで表示した際にタブが表示されますので、タブ表示を変えてPDF印刷する
 - プレビュー画面をWordに貼り付ける、など